平成 25 年 7月 31日

各　　位

会 社 名　古河スカイ株式会社
代表者名　代表取締役社長　岡田　満
（コード番号 5741　　東証第１部）
問合せ先　経理部長　　磯　政男
（TEL.　03-5295-3800(代)）
当社の親会社　古河電気工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　柴田　光義
（コード番号 5801）

固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成25年７月31日開催の取締役会において、以下のとおり減損損失を特別損失に計上することといたしました。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年５月９日に公表いたしました平成26年３月期 第２四半期（累計）の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

１．減損損失の計上について

当社小山工場について、古河スカイ小山押出株式会社との吸収分割契約締結に伴い、管理会計上の区分を変更する事象が発生したこと等により、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、減損損失を特別損失に計上することとなりました。

場所	用途	種類	減損損失額
栃木県小山市	事業用資産（工場）	土地等	2,410百万円

２．業績予想の修正について

（1）平成26年３月期 第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想（A）	95,500	2,900	3,300	1,800	7.93
今 回 修 正 予 想（B）	95,500	4,400	4,900	1,600	7.05
増 減 額（B－A）	0	1,500	1,600	△200	
増 減 率（%）	0	51.7	48.5	△11.1	
（ご参考）前期実績（平成25年３月期 第２四半期累計）	93,371	2,854	3,125	1,815	7.99

（2）差異および修正の理由

売上高は、缶材需要が当初の想定以上に減少したものの、箔地や液晶製造装置用厚板の需要増加等により、売上高全体では当初の想定通りとなる見込みです。

上記の売上品種構成に加えて、原価低減の進捗や棚卸評価関係の影響等により、営業利益及び経常利益は当初の想定を上回る見込みです。また、当期純利益については、上記１.のとおり、減損損失を特別損失に計上する見通しとなったことを踏まえ、当初の想定を下回る見込みとなりました。

なお、配当予想につきましては５月９日公表の予想（中間３円、期末 未定）から変更はありません。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以　上